

若年女性の県内定着促進事業【青森県】

個別事業費	365 千円
交付金額	183 千円

地域の実情と課題

- 本県では、進学・就職時にあたる18・20・22歳の若年者の県外転出者数が多く、人口減少が進んでおり、近年は、男性と比較しても、女性の転出数が多い状況にある。
- コロナ禍により、若年者の地元志向は高まっているが、高校生・大学生等の県内就職率は依然として低い状況にある。
- 将来子どもを産み育てる若い世代の女性の県外流出は、さらに人口減少を加速させるものであることから、若年女性の県内定着を図る取組は極めて重要である。

事業の特徴

- 青森県内で仕事とプライベートを両立し、自分らしく働いている様々な業種の女性社員等で「あおり女子就活・定着サポーターズ」(あおりなでしこ)を結成する。
- 県内の高校・大学等の授業や講義等の時間を活用し、サポーターズが講話や女子学生等との意見交換を行う。

事業の効果

- 目標達成度
あおり女子就活・定着サポーターズ(あおりなでしこ)の講話・意見交換等参加者数 728人
- 参加学生のうち、アンケート回答者の9割以上の学生が県内就職を選択肢に入れてみようと感じたと回答しており、多くの学生に県内就職の意欲喚起が図られた。

目的・目標

- 目的
県内企業等で活躍しながら働く女性の姿を、県内外の女子学生、女子高校生等に直接伝えることで、県内企業等への就職・定着を促進する。
- 目標
あおり女子就活・定着サポーターズ(あおりなでしこ)の講話・意見交換等参加者数 430人

連携団体

- 国の認定制度(くるみん・えるぼし)及び県の働き方改革認証企業等子育て支援における認定企業等(あおりなでしこ構成企業)
- 各大学・高校等(進路指導・キャリア支援担当)

今後の課題

- 女性を含む高校生、大学生の県内就職率は上昇しているものの、依然として全国的には低水準であり、今後も女性のみならず若年者全体に対して、県内就職の魅力や県内で活躍する女性の姿をPRし、青森県内での就職を促進する取組を行う必要がある。

事業の概要

1 大学での講話・意見交換会の開催

オンライン開催(1回)を含め、5大学で8回開催
(参加学生数延べ321人)

キャリア形成の講義を利用して実施した大学が多く、「女性のキャリア形成」「働き方改革の取組」「働く女性の生活状況」など、大学側の講義テーマに応じて、講話等を行った。



2 高校での講話・意見交換会の開催

2校で座談会を実施
(参加学生数延べ344人)

仕事の内容や福利厚生などの制度の話のほか、余暇の過ごし方や給与の使い方など、仕事だけではなくプライベートも含めて紹介したことにより、県内で働くことや暮らすことに対する理解が深まった。



3 県外イベント等でのPR活動の実施

青森での就職を考えている学生が多く参加した。学生からは様々な質問があり、先輩社会人が丁寧に回答し、県内就職に向けての理解が深まった。

